

発議第 5 号

北海道子どもの医療費無料化制度の拡充を求める意見書

上記の意見書を別紙のとおり提出します。

令和2年9月16日

提 出 者

八雲町議会議員 佐藤 智子

賛 成 者

八雲町議会議員 横田 喜世志

八雲町議会議長 能登谷 正人 様

北海道子どもの医療費無料化制度の拡充を求める意見書

今、少子化の進行や子どもの貧困が、北海道の喫緊の課題になっている。

2017年に北海道が実施した「子どもの生活実態調査」では、全国平均を上回る5人に一人が貧困状態にあり、経済的理由で受診を断念せざるを得なかった世帯が17.8%、非課税世帯では32.6%と高いことがわかった。

全ての子どもたちの健康を守るため、お金の心配をせずに必要な時に医療機関を受診できるように、北海道の子ども医療費助成制度の拡充が求められている。しかし、北海道の子ども医療費助成の通院無料化は3歳未満、その上、所得制限や一部負担金があり、他県から比べても大きく遅れている。道内の市町村では中学生や高校生までにと医療費無料化の取組が広がっているが、地域によって格差があり、道の制度拡充による底上げが求められている。

「子どもの医療費無料化の拡充」は、幅広い道民の願いになっており、子どもたちをめぐる厳しい実態からも、一日も早い改善が求められる。

よって、以下について要望する。

お金の心配をせずに必要な時に医療機関を受診できるよう、北海道の子ども医療費助成制度を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月16日

北海道二海郡八雲町議会議長 能登谷 正 人

【提出先】
北海道知事